

授業改善推進プラン

第4学年

	指導方法の課題分析	目指す授業の改善計画	備考
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○話の聞き方や、場面に応じた話し方について、指導を工夫する必要がある。(話し方、聞き方の観点を意識させる) ○相手や目的に応じて、筋道を立てて、適切な言葉遣いで話せるように指導方法を工夫する必要がある。 ○自分の伝えたい内容を、はっきりと伝えられるように指導を工夫する必要がある。 ○生活に生かせる語彙を増やす指導の工夫が必要である。 ○漢字習得に向けての指導の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペア活動による対話や小グループでの話し合い活動を取り入れて、自分の考えを伝える場面や友達の考えを聞く場面を多く設定する。 ○身近なテーマを中心にして短作文を書く機会を多くとる。 ○国語辞典を使った学習活動の機会を増やす。 ○漢字ミニテストを行い繰り返しの習熟をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○短作文指導 ○ワークシートの種類 ○スピーチ ○辞書 ○読書指導 ○漢字ミニテスト
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や図、グラフなどから事象を捉える力を身に付けさせる必要がある。 ○都道府県に対する認識を高める必要がある。 ○自分の住んでいる地域に関心・意欲をもち、学習したことが生活に結び付くように、教材提示、授業展開を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図帳や資料を効果的に使い、資料を関連付けて読み取ることができるようにする。 ○都道府県を覚えることができるようワークシート等を効果的に使い意欲を高める。 ○児童にとって身近な資料を用意し、生活と学習が深くつながっていることを実感させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図帳 ○日本地図 ○新聞作成(数種類の新聞枠)
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲の個人差に対応し、進んで解決する態度を育てるための学習支援、学習活動を工夫していく必要がある。 ○学習したことを使って、練習問題を解く時間を十分に確保する必要がある。 ○既習事項の定着に時間がかかる児童がいるため、単元の始めに既習事項の振り返りを行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入の課題を工夫して、児童が自分の力に応じて学習を進められるようにする。 ○四則演算が正確にできるように、朝学習の時間を使って計算練習に取り組む。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が疑問に思ったことを、実験を通して解決できるようにする必要がある。 ○学習のねらいに沿って実験作業を効率よく進めるための工夫や、知識・理解を深めるための手だてが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいを明確に提示するとともに、問題に対しての実験の方法を考えさせて実験をし、実験結果をまとめ、考察を書く時間を確保する。 ○考察や結論をノートに書かせるようにする。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ○どの児童も調べ学習を自主的に手順を踏んで進められるように、支援していく必要がある。 ○調べた課題の発表について、様々な方法を提示し選択しながら個人、グループで取り組むことができるようにする。 ○調べる方法についての手だてを増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○興味関心から課題の設定ができるように導入の工夫をする。 ○自分の課題を調べるための方法として、本を読んだり、専門家に話を聞いた、インターネットで調べたり、実際に植物を育てたりする経験を重ねる。 ○タブレットを活用したまとめ学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表シート(数種類) ○タブレット活用 ○本での調べ方について(図書館利用と関連させて)
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーの演奏技術の個人差に対応するための指導法の工夫が必要である。 ○基本的な発声方法を学び、一人一人が自主的に声を出す指導法の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーを演奏する際の基本を確認・徹底し、進度に合った教材を使いながら身に付けるよう確実に演奏できるようにする。 ○無理のない発声で歌っている児童を手本にして、学び合い活動から、美しい響きのある声を理解させ、表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダー基礎の習熟 ○声の出し方の指導
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○授業規律の定着のために、細かい指示や個別対応が必要である。 ○一人一人の能力や特性に応じた題材やめあての設定が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業ルールを明確に示したり、材料・用具等の配置、座席配置などの学習環境を整える。 ○めあてを明確化し、手順や方法を分かりやすく提示する。木切れ、くぎ、のこぎり、金づち、水彩絵の具などの基本的な扱いに慣れ、自分の表したいものが表せる喜びを味わわせていく。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○マット運動や跳び箱、鉄棒運動等、器械運動では、個に応じた指導の工夫が必要である。 ○運動技能や運動に対する意欲の差が大きく、個別の支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○技の習得につながる基本的な運動を十分に取り入れた授業計画を立てる。 ○チームの一員として活躍できる場をもたせる。 ○互いに励まし合う気風を育てるための学習カードを準備する。 	